



## 短期留学参加者体験談

### パリ・カトリック大学（フランス）

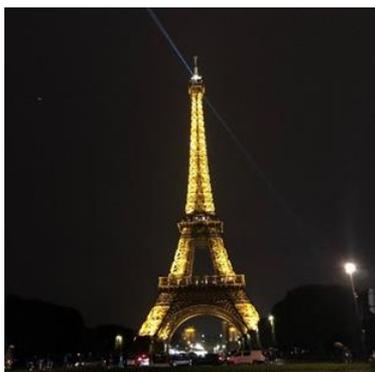
《1年 基礎課程 2019年度参加》

週5日の授業で単語や文法、発音などを学ぶことができ、語学力が向上しました。テストもあり、フランス語の勉強を頑張る事ができました。

行きの送迎車の中ではカーナビが何を言っているか、送迎してくれた方がなんと言っているか分からなかったのですが、帰りの送迎車の中では受け答えもスムーズに出来、カーナビが何と言っているのか分かり、感動しました。授業やホームステイを通して自分が昨日どこに行ったか、これから何をやるか、何を食べに行くかなど日常会話が劇的に上達しました。留学中、バスを使用するとき年配のフランス人の男性から話しかけられ、学校で習った文章などを使って会話をしていると、勉強頑張ってねとフランス語の本を頂いたことがとても嬉しく、大切なお土産の1つになりました。その本を見るたびに留学中のことを思い出します。

《2年 国際交流学科 2019年度参加》

語学学校でフランス語を学ぶだけではなく、ホームステイをすることで、フランスの文化を知ることができました。ホームステイ先のお家の方とコミュニケーションを積極的に取ることで、観光ではどこを訪れた方がいいのか、フランスのどのような点がパリに住む人にとって魅力的なのかなど現地の人にしかわからない知識や意見を教えてもらえました。お家の方との会話は、私のフランス語の能力を向上させるのにとても良い機会であったと感じています。今回の短期留学で一番印象的だったのは、語学学校での他国の学生の授業の受け方でした。私のクラスは様々な国の学生がいて、学生によって授業に取り組む姿勢も異なりました。その人の国籍がわかると、その人の姿勢と私のその国に対するイメージがどこかリンクする点があり、とても興味深く感じました。



※写真はすべて 2019 年度参加者提供

## リヨン・カトリック大学（フランス）

《2年 国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2021年度参加（オンライン）》

フランス語をフランス語で学ぶということがとても新鮮で印象的でした。授業はほとんどフランス語でしたが、少し英語を使って説明していただき理解しやすい授業でした。オンラインでのプログラム実施ということで日常生活を送りながら海外の授業を受けられることがメリットだと感じました。自分の今の語学力がどの程度なのかということが分かった為、今後の語学勉強の方法が明確になりモチベーションに繋がりました。

《2年 国際交流学科 2019年度参加》

全て初めてで分からないことばかりだったので、1人でリヨンに行くのは不安でした。しかし、現地でフランス人だけでなく、他の国から来た学生や日本から来た他大学の学生と仲良くなるとその不安は消え、様々な文化の違いや言語を学んでいくうちに国際的視野が広がりました。フランス語のみの授業は大変でしたが、最後は先生のおしゃっていることが分かるほどに成長しました。フランス人ははっきりと自分の意見を主張する、日本のように忖度するということがあまりないということ、フランス人の友人から学びました。

授業前にクラスのレベル分けテストがあり、自分のレベルにあったクラスに配属されました。授業は、ほぼフランス語でどうしても分からない時は英語で先生が優しく指導していただきました。日本とは違い、グループワークが多く黒板に書いてあることを暗記というよりは、皆で協力して答えを導き出すという授業形式でした。



※写真はすべて 2019 年度参加者提供